

そのこ

詩を谷川俊太郎

絵を塚本やすし

そのこはおくたい

そのこはぼくのともだちじゃない  
でもぼくはしってる

ぼくがともだちとあそんでいるとき

そのこがひとりではたらいっているのを

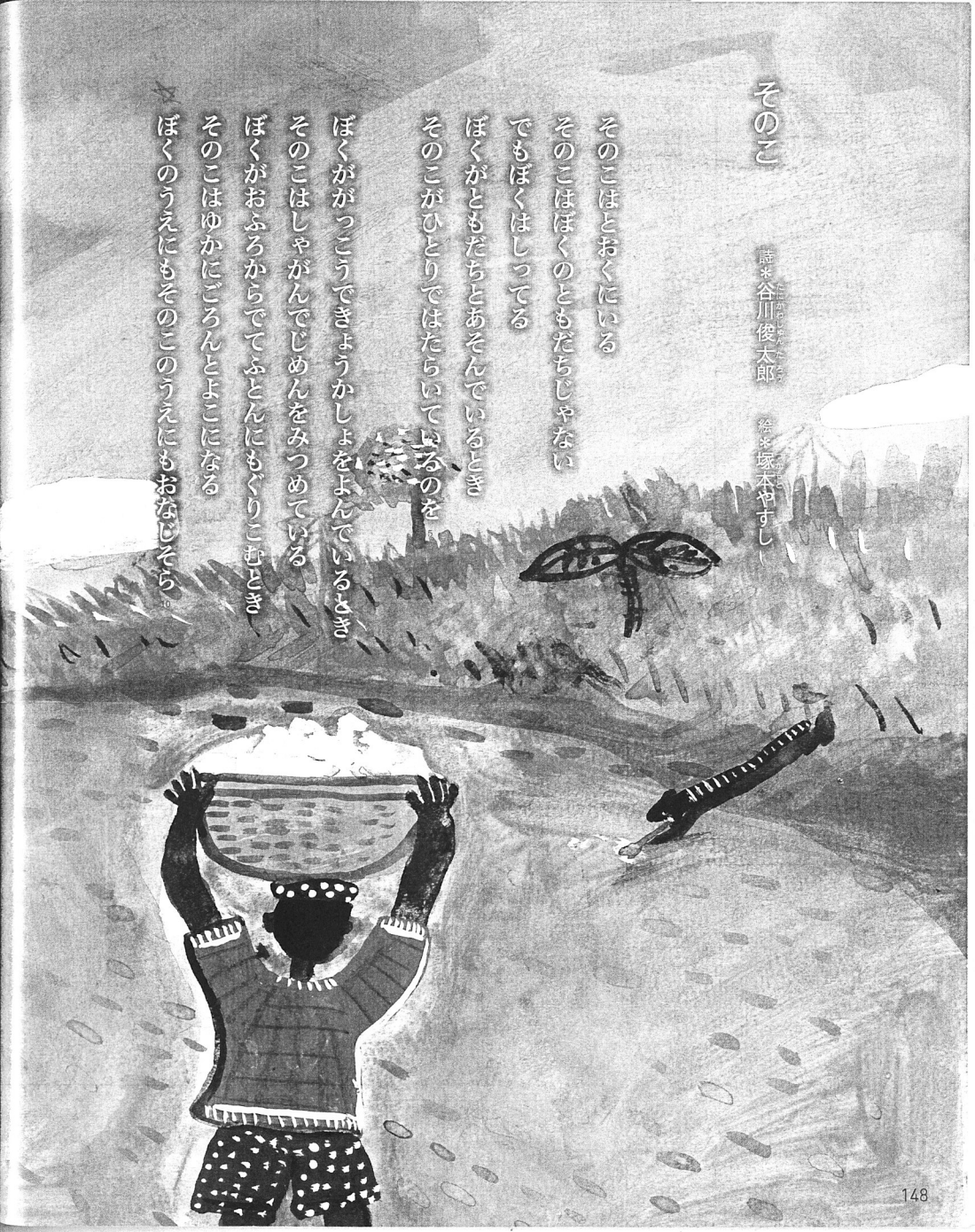
ぼくがつかうできようかしよをよんでいるとき

そのこはしゃがんでじめんをみつめている

ぼくがおふるからでてふとんにもぐりこむとき

そのこはゆかにころんとよこになる

ぼくのうえにもそのこのうえにもおなじそら



ぼくはこどもだからはたらかなくていい

おかねはおとながかせいでくれる

そのおかねでぼくはげーむをかう

そのこはこどもなのにおかねをかせいでいる

そのおかねでおとなはたべものをかう

ちきゅうのうえにはりめぐらされた

おかねのくものすにとらえられて

ちようちよのようにそのこはもがいている

そのこのみらいのためになにができるか

だれかぼくにおしえてほしい

